



車を運転する前に

車を運転する前に必要な各部の開閉、調整、点検
について説明しています。

■ 車体各部の開閉

キー-----	76
電波式リモコン ドア ロック-----	77
盗難警報装置-----	80
ドアの開閉-----	83
スライド ドア-----	85
チャイルド ブルーフ-----	95
集中ドア ロック-----	95
キー抜き忘れ警告ブザー-----	96
リヤ ゲート-----	96
ボンネット-----	101
エンジン ルームの開閉-----	103
フューエル リッド-----	106
パワー ウィンドウ-----	109

■ 車体各部の調整

ルーム ミラー-----	113
電動格納式ドア ミラー-----	113

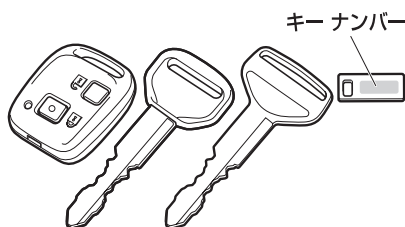


車体各部の開閉

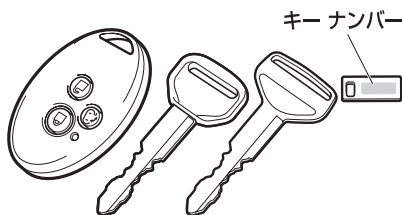
キー

キーはエンジンの始動や停止のほか、ドアの施錠、解錠など車を操作するためにはなくてはならない物です。大切に管理してください。

○パワー スライド ドア装着車以外



○パワー スライド ドア装着車



アドバイス

- キーは 2 枚用意しています。2 枚の内 1 枚は、いざという時のために予備として使用してください。
- リモコンは 4 個まで設定することができます。

キー ナンバー プレートについて

- お客様以外にキー ナンバーがわからないように、キーではなくプレートにキー ナンバーを打刻してあります。
- キー ナンバー プレートを車両以外の場所に大切に保管してください。万一、キーを紛失したときに、キー ナンバーをスバル販売店にご連絡いただければ、指定キーを作ることができます。

航空機に乗るときは

- 航空機にリモコン（電波式リモコンドア ロック）を持ち込む場合は、航空機内で“LOCK”、“UNLOCK”のボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。



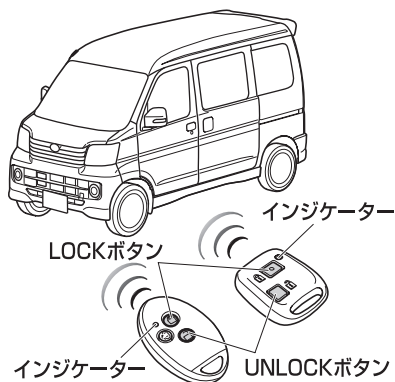
電波式リモコン ドア ロック

ドアの施錠、解錠をリモコンで行うことができます。

▼操作方法

ドアが施錠された状態で、リモコンの“UNLOCK”ボタンを押すと、インジケータが1回点滅し、すべてのドアは解錠されます。

“LOCK”ボタンを押すとインジケータが1回点滅し、すべてのドアは施錠されます。



パワー スライド ドア装着車は、左側スライド ドアの自動開閉をリモコンで行うことができます。

(リモコンでの自動開閉→ 93 ページ)

アドバイス

- “UNLOCK” ボタンを押し、ドア ロックが解錠されたあと、ドアの開閉を行わなかった場合は約 30 秒後、自動的にすべてのドアが施錠されます。(自動ロック機能)
- リモコンと車両中心の距離が約 3m以上離れているときは正確に作動しないことがあります。また、近くにTV塔や発電所、放送局があるなど周囲の状況によっても正確に作動しないことがあります。
- キーがエンジン スイッチのキー挿入口に差し込まれている場合、またはいずれかのドアが開いている場合は作動しません。
- リモコンには精密な電子部品が組み込まれています。故障の原因となりますので下記のことをお守りください。
 - 直射日光や高温下に放置しないでください。
 - 落とすなどして、強い衝撃や圧力を加えないでください。
 - 水にぬらしたり、ゴミ、ほこりなどが入らないようにしてください。
- 車を離れるときは、ドア ハンドルを引き、確実にドアが施錠されていることを確認してください。
- リモコンの電池寿命は、1日 10 回乗降時で約 2 年です。

電池の消耗について

- ボタンを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはインジケータが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。

(リモコンの電池交換→ 78 ページ)



車を運転する前に 車体各部の開閉

作動完了の確認方法

非常点滅灯と室内照明により、電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認することができます。

▼確認方法

ドアの施錠、解錠と連動して非常点滅灯と室内照明（スイッチがDOOR位置のとき）が下表の通り作動します。（アンサーバック）

これにより、電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認してください。

作動	部位	アンサーバック
LOCK時	非常点滅灯	1回点滅
	室内照明	減光し、その後消灯
UNLOCK時	非常点滅灯	2回点滅
	室内照明	約15秒間点灯

リモコンの電池交換

- インジケーターが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。
- 電池は、お客様自身で交換できますが、破損などのおそれがあるため、スバル販売店で交換をおすすめします。

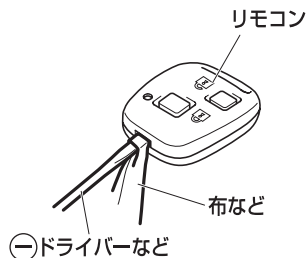
▼使用電池について

使用電池は「CR1616（3V）」です。

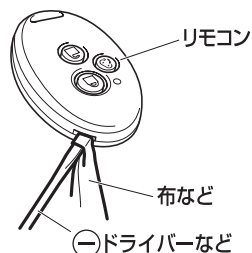
▼交換方法

1. 傷付き防止のため、先端に布などを巻いた、くぼみに入る程度の薄刃の⊖ドライバーなどを用意します。
2. 用意した⊖ドライバーなどをくぼみに差し込み、リモコンのカバーを外します。

パワー スライド ドア装着車以外

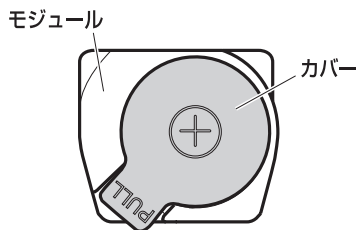


パワー スライド ドア装着車

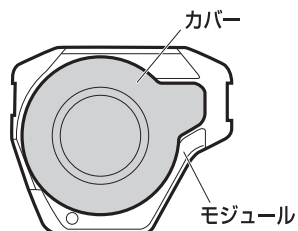


3. モジュールの裏側のカバーを外します。

パワー スライド ドア装着車以外



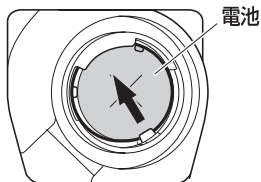
パワー スライド ドア装着車



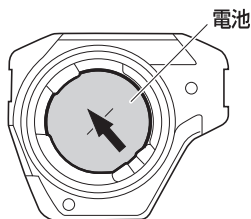


4. 矢印の方向にスライドさせて、電池を取り出し、新しい電池と交換します。

パワー スライド ドア装着車以外



パワー スライド ドア装着車



▼ 交換したあと

1. カバーとモジュール、およびリモコンのカバーを逆の手順で取り付けます。
2. スイッチを押したとき、インジケータが点滅することを確認します。

⚠ 注意

- 電池交換をする場合は、必ず身体や衣類に帯電している静電気を放電してください。静電気により、リモコンが損傷するおそれがあります。静電気を放電する場合は、静電気が除去できる物をあらかじめ用意しておくか、金属部分などに手を触れてください。
- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように特にご注意ください。

📖 アドバイス

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 故障の原因となりますので、下記のことをお守りください。
 - 端子部分などを曲げない
 - 水、油などでぬらさない
 - ゴミなどの異物を入れない
- 電池はスバル販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。
- 電池交換はスバル販売店に依頼することをおすすめします。
- 電池は新品を使用してください。
- 電池交換後はリモコンの機能が正常であることを確認してください。
- ボタン電池を廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。電池が重なり合ったり、他の金属製品を混ぜたりすると電池がショートして、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。また、自治体が条例などを定めている場合は、その条例にしたがってください。

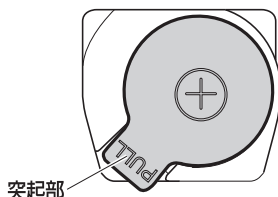


車を運転する前に 車体各部の開閉

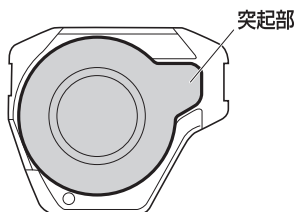
🔧 アドバイス

- カバーをはめ込むときは、突起部からはめ込み、全体を均等に押さえてください。カバーが確実にはめ込まれていないと、水、ほこりなどが入り、故障の原因になるおそれがあります。

パワー スライド ドア装着車以外



パワー スライド ドア装着車



盗難警報装置

盗難警報装置は、すべてのドアを閉め、電波式リモコン ドア ロックでドアを施錠した場合に、盗難に対する警戒を開始します。

電波式リモコン ドア ロック以外の操作でドアを開けると、警報を発して周囲に異常を知らせます。

🔧 アドバイス

- 盗難警報装置は、周囲に異常を知らせる機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- ほかの方にお車を貸したときや、盗難警報装置の作動について知らない方が運転するときは、盗難警報装置について十分ご説明ください。盗難警報装置の作動について知らない方が操作を誤った場合、警報が作動し周辺への迷惑になります。
- たとえ盗難警報装置をセットしていても、現金や貴重品は車内に放置しないでください。

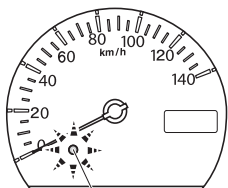


盗難警報装置のセット方法

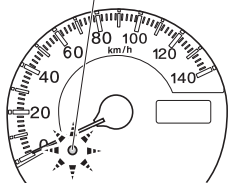
すべてのドアを閉め、電波式リモコン ドア ロックでドアを施錠すると、セキュリティ表示灯が点灯し、セットを開始します。

約 30 秒後にセットが終了し、盗難警報装置は警戒状態になります。

警戒中は、セキュリティ表示灯が点滅します。



セキュリティ表示灯



アドバイス

- 電波式リモコン ドア ロック以外の操作でドアを施錠した場合、盗難警報装置はセットされません。(電波式リモコン ドア ロックの自動ロック機能で施錠された場合は、セットされます)
- セキュリティ表示灯が点灯してから約 30 秒以内に下記の操作をした場合、盗難警報装置のセットは中断されます。
 - 運転席ドアを解錠したとき
 - ドアを開けたとき
 - キーがエンジン スイッチのキー挿入口に差し込まれたとき

警戒中の作動

警戒中に電波式リモコン ドア ロック以外でドアを開けると、警報が作動します。

(1 次警報)

この間、警報が解除されなかった場合、さらに警報が作動します。(2 次警報)

アドバイス

- 警報作動中にドアを閉めても、警報は停止しません。
- 警報終了後、ドアを閉めると、盗難警報装置が再び警戒状態になりますが、施錠はされません。お車を離れる際は確実に施錠してください。

○ 盗難警報

▼ 1 次警報

- セキュリティ表示灯が点滅
- 非常点滅灯が 10 秒間点滅
- 室内ブザーが 10 秒間断続して鳴る

▼ 2 次警報

- セキュリティ表示灯が点滅
- 非常点滅灯が 30 秒間点滅
- 室内ブザーが 30 秒間断続して鳴る
- ホーンが 30 秒間断続して鳴る



車を運転する前に 車体各部の開閉

盗難警報装置の解除方法

電波式リモコン ドア ロックでドアを解錠するか、エンジン スイッチを“ON”の位置にすると解除できます。

アドバイス

- 盗難警報装置は、車内に人が乗っているときや、ドア ウインドウ ガラスが開いているときにも作動します。盗難警報装置を誤作動させないために、車内に人が乗っているときや、ドア ウインドウ ガラスが開いているときは、盗難警報装置をセットしないでください。

警報の停止方法

すべてのドアを閉め、電波式リモコン ドア ロックで施錠するか、エンジン スイッチを“ON”の位置にします。

盗難警報装置の作動履歴の確認

盗難警報装置のセット中に警報（2 次警報まで作動した場合のみ）が作動したことを確認することができます。

▼ 確認方法

エンジン スイッチを“ON”の位置にすると、室内ブザーが「ピーッピッ」と鳴り、2 次警報まで作動したことを知らせます。

アドバイス

- 作動履歴の確認は、2 次警報作動後、1 回のみ行うことができます。

盗難警報装置の メンテナンスについて

盗難警報装置のメンテナンスは不要です。

注意

- 盗難警報装置の改造や取り外しをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。



ドアの開閉

▼操作を行う前に

⚠警告

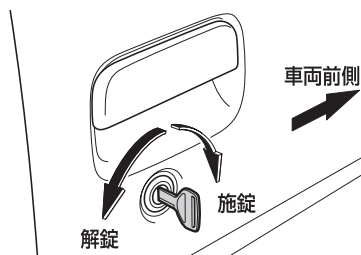
- ドアの開閉は確実に行ってください。ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながったり、運転者や同乗者、または荷物が車から投げ出されるおそれがあります。
- 走行中は絶対にドアを開けないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。いきなり開けると後続車にぶつかるおそれがあり危険です。風が強いときは特に注意してドアを開けてください。
- 車から離れるときは、法的にも義務付けられていますので、必ずエンジンを止め施錠してください。無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。
- お子さまに各ドアの開閉をさせたり、いたづらをさせないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアを閉めるとき指などを挟まないように注意してください。

👉アドバイス

- ドアを施錠している場合でも、車を離れるときは貴重品などは車の中に置いたままにしないでください。

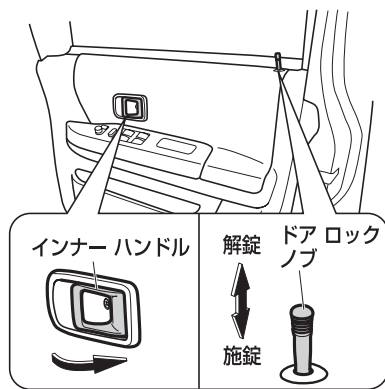
車外からの施錠、解錠

キーを確実に差し込んでから回します。キーを車両前側に回すと施錠され、後ろ側に回すと解錠されます。



車内からの施錠、解錠

ドア ロック ノブを押し下げると施錠できます。ドア ロック ノブを引き上げると解錠できインナー ハンドルを引くとドアが開きます。





車を運転する前に 車体各部の開閉

車外からキーを使わない施錠

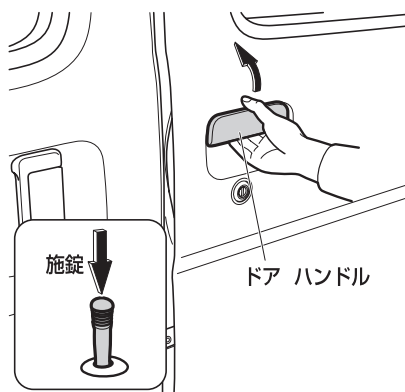
アドバイス

- キーを車内に置き忘れないようにしてください。不注意によりキーを車内に閉じ込めてしまう場合があります。
- キーを使用せずにドアを施錠するときにはキーを手を持っていることを確認してからドアを閉める習慣を身に付ければ、車内にキーを閉じ込めてしまうことを防止できます。

○フロント ドア

▼操作方法

ドア ロック ノブを押し下げ、ドア ハンドルを引いたままドアを閉めて施錠します。



○スライド ドア

▼操作方法

ドア ロック ノブを押し下げ、ドアを閉めて施錠します。

キー閉じ込み防止機能

キーを車内に残したまま、施錠することを防ぐ機能です。

エンジン スイッチにキーが差し込まれているときに作動します。

▼キー閉じ込み防止機能が作動するとき以下の操作をするとキー閉じ込み防止機能が作動して、すべてのドアが解錠されます。

- 車内の運転席ドアのドア ロック ノブを施錠方向に押し下げ、運転席ドアハンドルを引いたままドアを閉めたとき
- すべてのドアが施錠されている状態で、エンジン スイッチが“LOCK”または“ACC”の位置のときに、運転席以外のドアのドア ロック ノブを車内から解錠し、ドアを開けて閉めたとき



スライド ドア

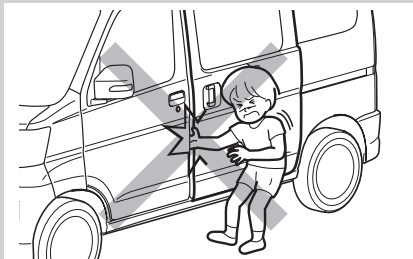
⚠警告

走行する前は

- スライド ドアが確実に閉まっていることを確認してください。半開のまま走行すると、ドアが全開または全閉方向に動き、手足や顔を挟んだり、車内の方が車外に放り出されるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

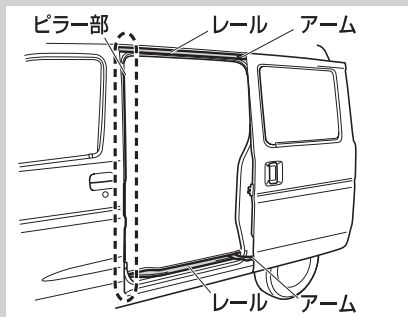
ドアを開閉するときは

- お子様にはスライド ドアの開閉操作をさせないでください。不意にドアが動き出したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。



⚠警告

- スライド ドアを開閉するときは、下記のことをお守りください。ドアで手・頭・首を挟むなど、思わぬけがをするおそれがあります。
- スライド ドア周辺の安全を十分確認してください。
- 周りに人がいるときは、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- ドア ハンドルをしっかりと持ち、スライド ドアのふちやその周辺に手をかけずに開閉してください。
- スライド ドアのレール、アーム、およびピラー部には手足をかけないでください。



- スライド ドアのウィンドウ ガラスを開けたまま開閉するときは、ウィンドウから手足や顔を出さないでください。
- スライド ドアは必ず全開（ストッパーがかり、固定される位置）にしてください。開け方が不完全で固定されていないと、不意に動き出すことがあります。
- スライド ドアを閉めるときは指などを挟まないよう、十分に注意してください。



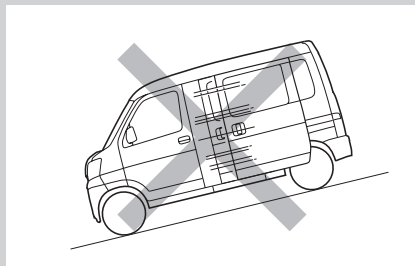


車を運転する前に 車体各部の開閉

⚠警告

傾斜地では

- 傾斜地でスライド ドアを開閉するときは、下記のことをお守りください。ドアが不意に動き出すことがあり、手・頭・首を挟むなど、思わぬけがをするおそれがあり危険です。
- スライド ドアは必ず全開（ストッパーがかかり、固定される位置）にしてください。
- スライド ドアを開けたままにしないでください。

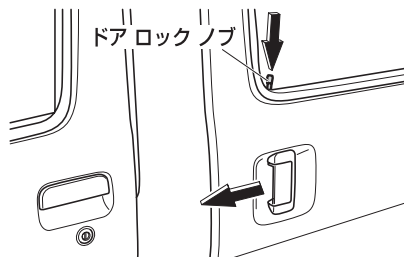


- 乗り降りの途中でドア ハンドルを操作しないでください。
- スライド ドアの開閉スピードが速くなりますので、注意してください。

車外からの施錠

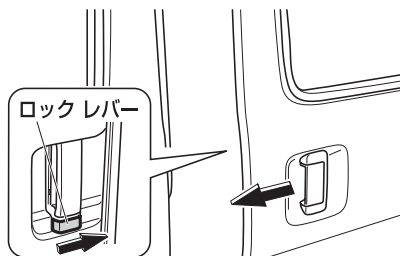
パワー スライド ドア以外

ドア ロック ノブを押し下げ、ドアを閉めて施錠します。



パワー スライド ドア（左側）

ロック レバーを車両前方に押し、ドアを閉めて施錠します。

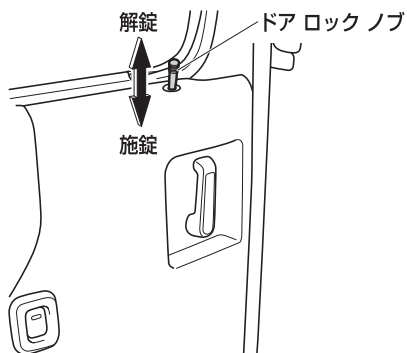




車内からの施錠、解錠

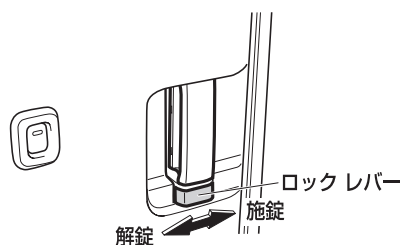
パワー スライド ドア以外

ドア ロック ノブを押し下げると施錠し、引き上げると解錠します。



パワー スライド ドア (左側)

ロック レバーを車両前方に押すと施錠し、後方に引くと解錠します。



スライド ドアの開閉

アドバイス

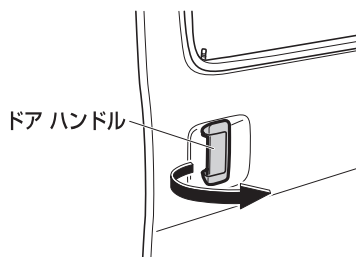
パワー スライド ドア (左側)

- パワー スライド ドア オフ スイッチが“OFF”のとき、スライド ドアを手動で開閉できます。

(パワー スライド ドア オフ
スイッチ→ 91 ページ)

○車外からの開閉

- 開けるときは、車外のドア ハンドルを引いて、スライド ドアを車両後方に操作します。
- 閉めるときは、車外のドア ハンドルを引いて、ストッパーを解除させてから、スライド ドアを車両前方に操作します。



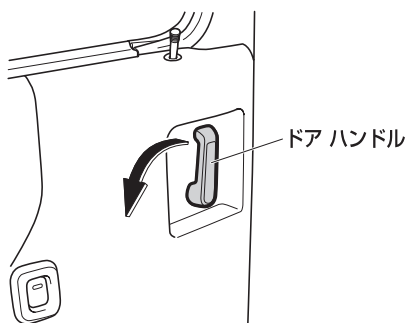


車を運転する前に 車体各部の開閉

○車内からの開閉

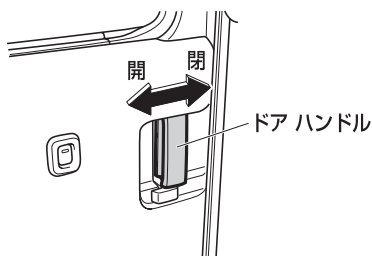
パワー スライド ドア以外

- 開けるときは、車内のドア ハンドルを引いて、スライド ドアを車両後方に操作します。
- 閉めるときは、車内のドア ハンドルを引いて、ストッパーを解除させてから、スライド ドアを車両前方に操作します。



パワー スライド ドア (左側)

- 開けるときは、車内のドア ハンドルを車両後方に引いて、スライド ドアを車両後方に操作します。
- 閉めるときは、車内のドア ハンドルを車両前方に押して、ストッパーを解除させてから、スライド ドアを車両前方に操作します。



イージー クローザー機構 (左側ドア)

オプション/グレード別装備

スライド ドアを閉めたとき、半ドア状態でも、自動的にドアを閉めることができます。

⚠警告

- 半ドア状態のとき、スライド ドアが自動的に閉まるため、指などを挟まないように十分注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、お子さまにはドアの開閉操作をさせないでください。

⚠注意

- イージー クローザーの作動中は、ドアに無理な力をかけないでください。また、イージー クローザーを繰り返し作動させないでください。無理な力をかけると、故障の原因になります。

📖アドバイス

- ドア ハンドルを引いたままスライド ドアを閉めると、イージー クローザーは作動しません。

パワー スライド ドア装着車 (左側)

- パワー スライド ドア オフ スイッチが“OFF”のときでも、イージー クローザー機構は作動します。



パワー スライド ドア (左側ドア)

オプション/グレード別装備

ドア ハンドルやスイッチの操作により、左側のスライド ドアを自動で開閉することができます。

⚠警告

- パワー スライド ドアを自動開閉するときは、スライド ドアの警告および注意に加え、下記のことをお守りください。ドアで手足や顔を挟むなど、思わぬけがをするおそれがあります。

(スライド ドア→ 85 ページ)

ドアを自動開閉するときは

- 車が完全に停止している状態で行ってください。
- 自動開閉中に、パワー スライド ドア メイン スイッチを“OFF”にした場合、または、開いているときに車速約 3km/h以上で走行した場合は、ブザーが鳴り、作動を停止して手動操作に切り替わります。この場合、約 8 秒間スライド ドアにブレーキをかけて、ドアの動くスピードを抑制しますが、約 8 秒経過したあと、坂道などの傾斜地では、ドアが不意に動き出すおそれがあるので十分注意してください。
- エンジン停止時の自動開閉中に、エンジン スイッチを“ON”の位置にしないでください。バッテリー電圧の低下により、ドアが操作と反対方向に動いたり、停止したりすることがあり危険です。

⚠警告

傾斜地では

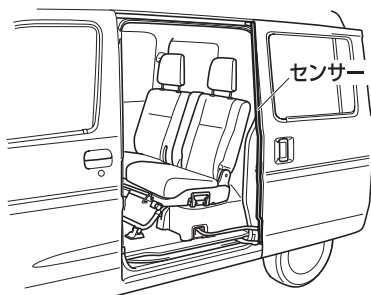
- 開いたあとにスライド ドアが閉まる場合があります。スライド ドアは必ず全開で静止していることを確認してください。

スライド ドア周辺で作業をするときは

- 左側の後輪のタイヤ交換など、スライド ドア周辺で作業をするときは、パワー スライド ドア メイン スイッチを“OFF”にしてください。“ON”にしていると、誤ってスライド ドア ハンドルなどに触れ、スライド ドアが動き出すおそれがあります。

⚠注意

- スライド ドアの側面部のセンサーを刃物などの鋭利なもので傷付けしないでください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。また、自動で閉めているときにセンサーが切断されると、パワー スライド ドアはただちに停止します。





車を運転する前に 車体各部の開閉

アドバイス

パワー スライド ドアの作動条件

- パワー スライド ドアは、エンジン スイッチの位置に関係なく使用できます。
- パワー スライド ドアは、パワー スライド ドア オフ スイッチが“ON”の状態、下記の作動可能条件をすべて満たしているときに使用できます。
- パワー スライド ドアが解錠されているとき(閉めるときを除く)
- 車速が約 3km/h未満のとき
- エンジン スイッチが“ON”の位置のときは、車速が約 3km/h未満で、
 - ・セレクト レバーがPレンジの位置
 - ・駐車ブレーキがかかっている
 - ・ブレーキ ペダルを踏んでいるのいずれかの条件を満たしているとき
- パワー スライド ドア オフ スイッチが“ON”の状態、作動可能条件を満たしていないときに手動により開閉をすると、約 8 秒間スライド ドアにブレーキをかけて、ドアの動く速度を抑制します。
- 下記のようなときは、パワー スライド ドアが作動しない場合があります。
 - バッテリーの電圧が低下しているとき
 - 坂道などの傾斜地で駐車しているとき

アドバイス

自動開閉中の異常検知

- パワー スライド ドアの自動開閉中に、人や異物などによる挟み込みを検知すると、ブザーが鳴り、その位置から自動的にドアは反対方向に動きません。
- 自動開閉中に連続して同方向に 2 回以上の挟み込みを検知すると、ブザーが鳴り、作動を停止します。

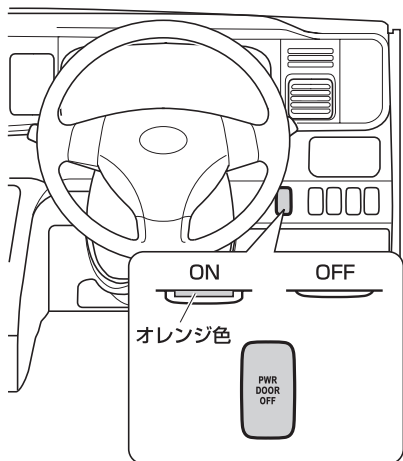
自動開閉中に作動が停止した場合

- 自動開閉中に作動が停止すると、ブザーが鳴り、作動を停止し手動に切り替わります。
- スライド ドアが停止した場合、急な開閉を防ぐために作動を停止した状態から、約 8 秒間スライド ドアにブレーキをかけ、スピードを抑制します。
- 停止した状態から、再度、自動開閉ができる状態にするには、一度、手動でスライド ドアを全閉、または全開してください。自動開閉ができる状態になります。



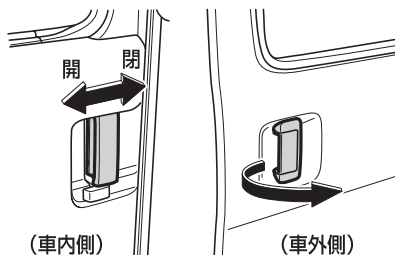
○パワー スライド ドア オフ スイッチ

スイッチを押すごとに、“ON”と“OFF”が切り替わります。“OFF”のときは、スライド ドアを自動で開閉することができません。



👉 アドバイス

- スイッチが“OFF”のときは、自動開閉はできませんが、車外、車内のドアハンドルで手動による開閉はできます。

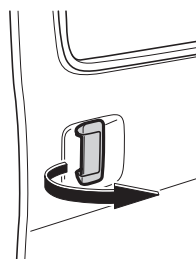


- スイッチが“OFF”のときでもイメージ クローザーは作動します。

○スライド ドア ハンドルでの 自動開閉

▼車外のドア ハンドルによる操作

- スライド ドアが全閉状態のとき、ドア ハンドルを引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- スライド ドアが全開状態のとき、ドア ハンドルを引くと、ブザーが断続的に鳴り自動で全閉します。



- 全開、または全閉作動中に再度ドアハンドルを引くと、逆方向の作動に切り替わります。ただし、全開、または全閉の状態から作動したあとの約 1 秒間は、再度ドア ハンドルを引いても逆方向の作動に切り替わりません。

👉 アドバイス

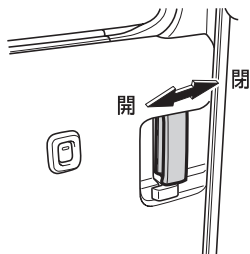
- 閉めるときは、スライド ドアを閉める方向に動かすと、自動で全閉します。



車を運転する前に 車体各部の開閉

▼車内のドア ハンドルによる操作

- スライド ドアが全閉状態のとき、ドア ハンドルを車両後方に引くと、ブザーが鳴り自動で全開します。
- スライド ドアが全開状態のとき、ドア ハンドルを車両前方に押しすと、ブザーが断続的に鳴り自動で全閉します。



- 全開、または全閉作動中に再度ドア ハンドルを作動と逆方向に操作すると、逆方向の作動に切り替わります。ただし、全開、または全閉の状態から作動したあとの約 1 秒間は、再度ドア ハンドルを作動と逆方向に操作しても、逆方向の作動に切り替わりません。

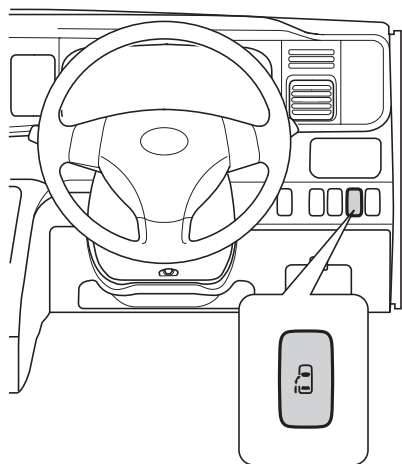
👉 アドバイス

- チャイルド プルーフが施錠状態になっているときは、車内のドア ハンドルで、スライド ドアを自動で開くことができません。

○パワー スライド ドア開閉 スイッチでの自動開閉

運転席インストルメント パネル右側のスイッチで、左側のスライド ドアの自動開閉を行うことができます。

- スライド ドアが全閉状態のとき、スイッチを約 1 秒以上押し続けると、スイッチを押している間ブザーが鳴り、自動で全開します。
- スライド ドアが全開状態のとき、スイッチを約 1 秒以上押し続けると、スイッチを押している間ブザーが鳴り、自動で全閉します。
また、閉作動中はブザーが断続的に鳴ります。



- 全開、または全閉作動中に再度スイッチを押すと、逆方向の作動に切り替わります。ただし、全開、または全閉の状態から作動したあとの約 1 秒間は、スイッチを押しても、逆方向の作動に切り替わりません。



○リモコンでの自動開閉

▼施錠、解錠の操作

リモコンで、ドアの施錠、解錠を行うことができます。

(電波式リモコン ドア ロック
→ 77 ページ)

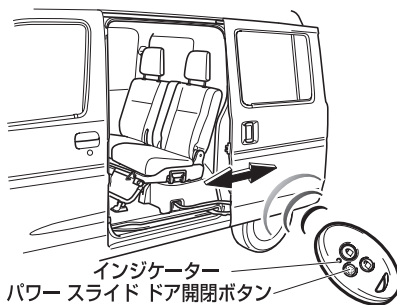
▼自動開閉の操作

リモコンで、左側のスライド ドアの自動開閉を行うことができます。

🕒 アドバイス

- キーがエンジン スイッチのキー挿入口に差し込まれている場合は、リモコンによる自動開閉はできません。
- リモコンの電池寿命は、1 日 10 回開閉時で約 2 年です。

- スライド ドアが全閉状態のとき、パワー スライド ドア開閉ボタンを約 1 秒以上押し続けると、ボタンを押している間ブザーが鳴り、自動で全開します。
- スライド ドアが全開状態のとき、パワー スライド ドア開閉ボタンを約 1 秒以上押し続けると、ボタンを押している間ブザーが鳴り、自動で全閉します。
また、閉作動中はブザーが断続的に鳴ります。



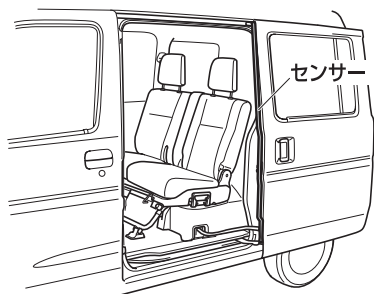
- 全開、または全閉作動中に再度パワー スライド ドア開閉ボタンを押すと、逆方向の作動に切り替わります。ただし、全開、または全閉の状態から作動したあとの約 1 秒間は、パワー スライド ドア開閉ボタンを押しても逆方向の作動に切り替わりません。



車を運転する前に 車体各部の開閉

挟み込み防止機構 (パワー スライド ドア)

- パワー スライド ドアの側面部には、センサーがついています。
- パワー スライド ドアを自動で閉めているときに、挟み込みなどによりセンサーが圧縮されると挟み込み防止装置が作動します。
- 挟み込み防止機構が作動すると、その位置からドアは反対方向に動き、全開位置で停止します。



⚠注意

- 挟まれる物の形状によって、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。

初期設定 (パワー スライド ドア)

パワー スライド ドアが全開時で、ヒューズ切れやバッテリーあがりが発生したときは、パワー スライド ドアの初期設定をしてください。パワー スライド ドアが初期設定されていないと、下記の機能が作動しません。

- パワー スライド ドアの自動開閉
- 挟み込み防止機構

○初期設定のしかた

車外のドア ハンドルを操作して、手動で全閉にすると初期設定されます。

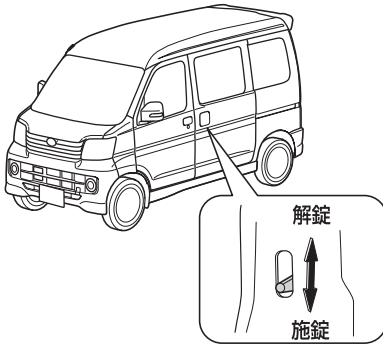


チャイルド プルーフ

お子さまの安全のため、チャイルド プルーフを左右スライド ドア前部に付けています。

▼操作方法

レバーを“施錠”側にしておくと車内のドア ハンドルを引いてもドアを開かなくすることができます。ドアを開けるときは、車外のドア ハンドルで操作します。

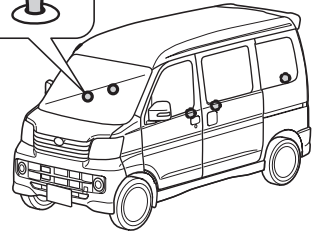


⚠注意

- お子さまをリヤ シートに乗せるときは必ずチャイルド プルーフを使用してください。

集中ドア ロック

運転席ドアのドア ロック ノブを操作すると、連動して助手席ドア・左右スライド ドア・リヤ ゲートが施錠、解錠されます。





車を運転する前に 車体各部の開閉

キー抜き忘れ警告ブザー

エンジン スイッチにキーが差し込まれているとき“LOCK”または“ACC”の位置でいずれかのドアを開けるとブザー（断続音）が鳴り、キーの抜き忘れを警告します。

リヤ ゲート

▼ 操作を行う前に

⚠警告

走行するときは

- 走行中はリヤ ゲートを閉じてください。開けたまま走行すると、ドアが車外のものに当たったり、荷物が道路に落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。
- 走行前はリヤ ゲートを軽くゆすり、ドアが確実に閉まっていることを確認してください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 荷室には絶対に人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



⚠警告

お子さまを乗せているときは

- お子さまにはリヤ ゲートの開閉をさせないでください。不意にドアが動いたり、閉めるときに頭をぶついたり、首や手を挟んだりするおそれがあります。



- 荷室でお子さまを遊ばせないでください。誤って閉じ込められた場合、熱射病などになるおそれがあります。

⚠警告

リヤ ゲートを開閉するときは

- リヤ ゲートの開閉や荷物の出し入れをするときは、下記のことをお守りください。ドアで頭をぶついたり、首や手を挟むなど、思わぬけがをするおそれがあり危険です。
- リヤ ゲート周辺の安全を十分確認してください。
- 周りに人がいるときは、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- リヤ ゲートのふちやその周辺に手をかけずに開閉してください。
- リヤ ゲートは必ず全開で静止させてください。開け方が不十分だと、ドアが不意に閉まるおそれがあります。
- リヤ ゲートを閉めるときは自分や周りの人の指などを挟まないよう、十分に注意してください。
- 強風時の開閉には注意してください。風にあおられて、ドアが勢よく開いたり閉じたりするおそれがあります。

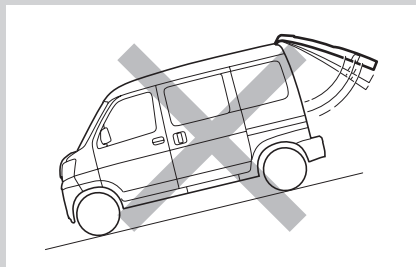




車を運転する前に 車体各部の開閉

⚠警告

- 傾斜地での開閉には注意してください。平坦な場所よりもリヤゲートが開閉しにくかったり、急にドアが閉じたり開いたりするおそれがあります。ドアを開けたときは必ず全開で静止していることを確認してください。

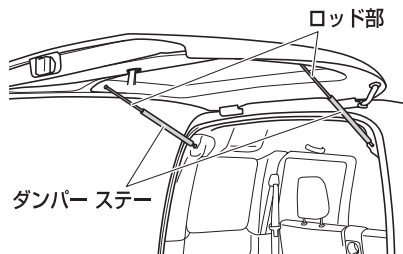


- リヤゲートを開ける前に、ドアに貼りついた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでドアが閉まるおそれがあります。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするときは、排気管の後方に立たないでください。排気熱でやけどをするおそれがあります。
- リヤゲートを支えているダンパーステーを持ってドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手を挟んだり、ステーが破損したりするおそれがあります。
- リヤゲートにスバル指定用品以外のアクセサリを取り付けしないでください。ドアの重量が極端に重くなると、開けた時にステーが支えきれなくなり、不意にドアが閉まるおそれがあります。

⚠注意

ダンパーステーについて

- リヤゲートには、ドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ステーの破損や作動不良を防ぐため、下記のことをお守りください。
- ステーに手をかけたり、横方向の力を加えたりしないでください。
- ビニール片、ステッカー、粘着材などの異物をロッド部（メッキの棒部）に付着させないでください。



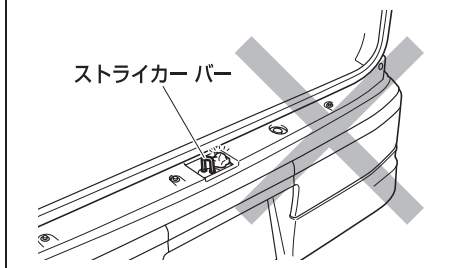
- 繊維などの付着を防ぐため、ロッド部を軍手などで触らないでください。



△注意

ストライカーバーについて

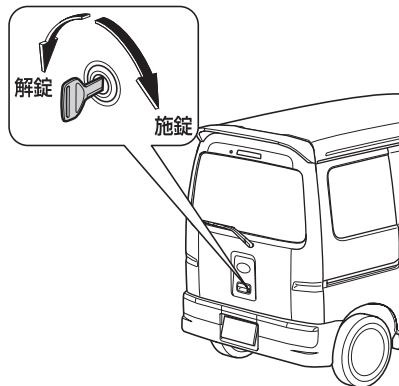
- リヤゲートを閉めるときはストライカーバーに異物がかみ込まないようにしてください。
バーが破損し、リヤゲートが閉まらなくなるおそれがあります。



車外からの施錠、解錠

▼施錠方法

キーを差し込み、右に回すと施錠します。



▼解錠方法

キーを差し込み、左に回すと解錠します。





車を運転する前に 車体各部の開閉

車内からの施錠、解錠

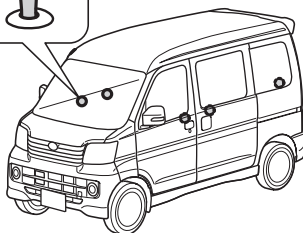
○リヤ ゲート連動集中ドア ロック
運転席ドアのドア ロック ノブを操作すると、連動してリヤ ゲートが施錠、解錠されます。このとき助手席ドア、スライド ドアも同時に施錠、解錠されます。

▼ 施錠方法

運転席ドアのドア ロック ノブを押し込むと施錠できます。

▼ 解錠方法

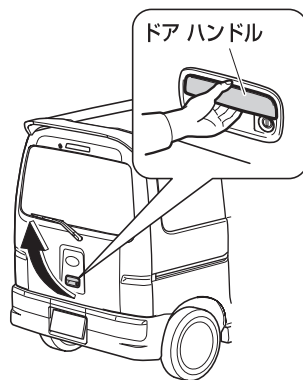
運転席ドアのドア ロック ノブを引き上げると解錠できます。



リヤ ゲートの開閉

▼ 開けるとき

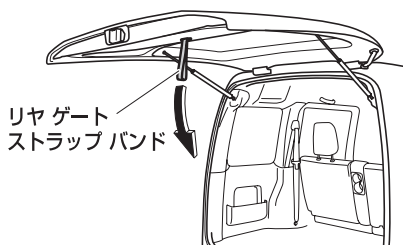
解錠したあとでドア ハンドルを引いて、リヤ ゲートをゆっくりといっぱいまで持ち上げます。





▼閉めるとき

1. リヤ ゲート ストラップ バンドを持ってリヤ ゲートを途中までゆっくりと下げます。



⚠注意

- リヤ ゲート ストラップ バンドを使ってリヤ ゲートを最後まで閉じようとしないでください。手や腕を挟み、けがをするおそれがあります。

2. バンドから手を離して、リヤ ゲートを上から手で押さえつけるように閉めます。
3. 半ドアでないことを確認します。

ボンネット

▼操作を行う前に

⚠警告

- ボンネット内は大変高温になっていることがあるため、下記のことをお守りください。
- やけどをするおそれがありますので、点検するときは、十分に冷めてから行ってください。
- 点検したあとは、ボンネット内に工具や布を置き忘れていることを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをボンネット内に置き忘れていると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

⚠注意

- ボンネットを閉めたあとは、ボンネットが確実にロックしたことを確認してください。ボンネットが確実に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあり大変危険です。
- ボンネットを開けているとき風にあおられるとステーが外れボンネットが不意に閉まるおそれがあります。特に風の強い日はご注意ください。
- お子さまにボンネットの開閉はさせないでください。ボンネットは大変重く、開閉中うっかり手を離すと思わぬけがにつながるおそれがあります。



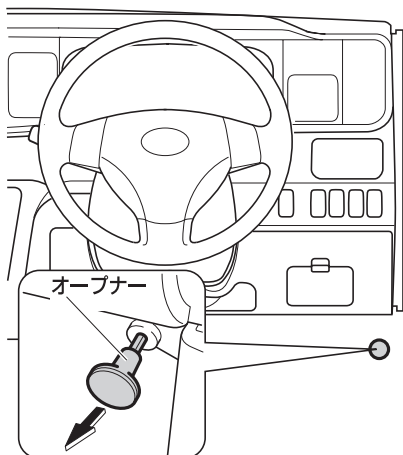


車を運転する前に 車体各部の開閉

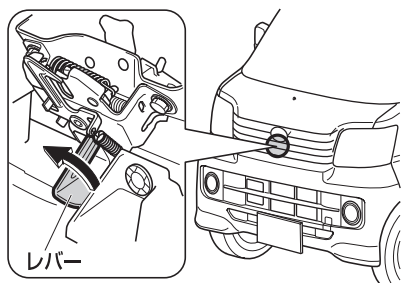
開けかた

▼操作手順

1. インストルメント パネル右下のオープナーを手前に引くと、ボンネット前部が少し浮き上がります。



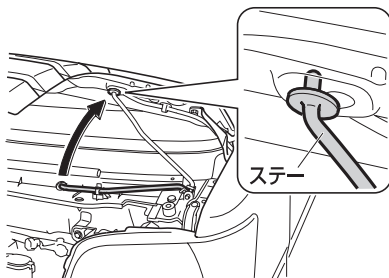
2. ボンネット前部中央にあるキャッチフックのレバーを矢印の方向に引き上げ、もう一方の手でボンネットを持ち上げます。



⚠注意

- エンジン回転中や停止直後は、レバーが熱くなっていることがあります。やけどや思わぬ事故につながるおそれがありますので、レバーを持つ前に必ず確認してください。

3. ボンネットをステーで確実に支えます。



⚠注意

- エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどや思わぬ事故につながるおそれがありますので、ステーを持つ前に必ず確認してください。
- ステーを確実に固定穴に差し込んでください。ステーが外れると大変危険です。

👉アドバイス

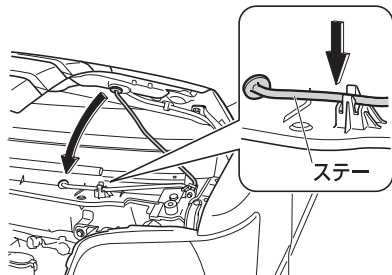
- ワイパーを起こしたままでボンネットを開けると、ワイパーがボンネットに当たり傷付くことがあります。



閉めかた

▼ 操作手順

1. ボンネットを片手で支えて、ステアーを元の位置へ戻します。



2. ボンネットを静かに下げ、手で押さえるようにして閉めます。

👉 アドバイス

- ボンネットを閉めるとき、手で強く押さえずぎないでください。

エンジン ルームの開閉

⚠️ 警告

- エンジン ルームは大変高温になっていることがあるため、下記のことをお守りください。
- やけどをするおそれがありますので、点検するときは、十分に冷めてから行ってください。
- 点検したあとは、エンジン ルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジン ルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- エンジン ルームを閉めたあとは、前側のキャッチが確実にロックしたことを確かめてください。ロックが確実にされていないと、急ブレーキ時などにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまにエンジン ルームの開閉をさせないでください。開閉中うっかり手を離すと大きなけがにつながるおそれがあります。



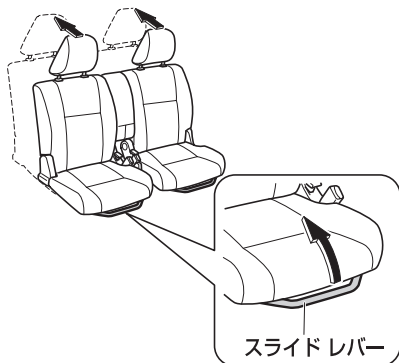


車を運転する前に 車体各部の開閉

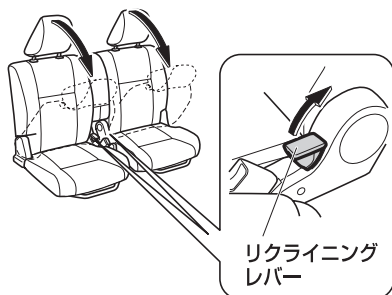
開けかた

▼操作方法

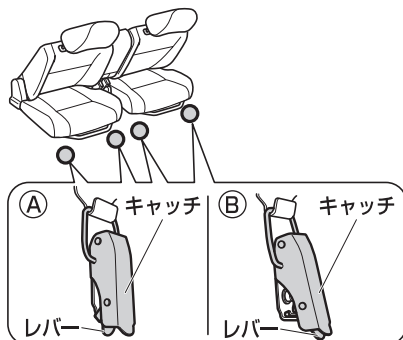
1. フロント シートのスライド レバーを引き、一番後ろまでスライドさせます。



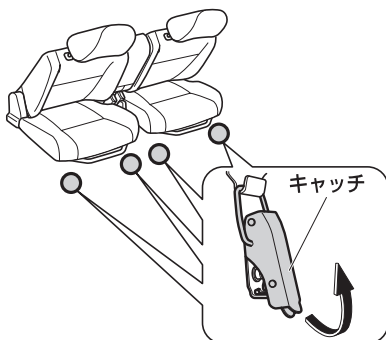
2. リクライニング レバーを矢印の方向に動かし、背当てを前に倒します。



3. シート前部のキャッチにあるレバーを動かし（Aの位置からBの位置）、ロックを解除します。

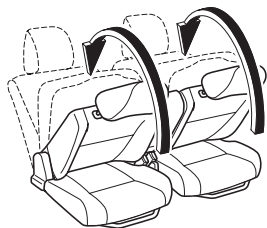


4. シート前部のキャッチを引き上げます。





5. シートを運転席、助手席の順に持ち上げ、リヤシート側に倒します。



⚠注意

- 運転席側を先に持ち上げてください。助手席側を先に持ち上げると、アームレストに当たって、同時に運転席側も動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを持ち上げた状態でドアを閉めないでください。ドアの内側にあたるおそれがあります。

閉めかた

⚠注意

- シートを動かすときは、手などを挟まないように注意してください。

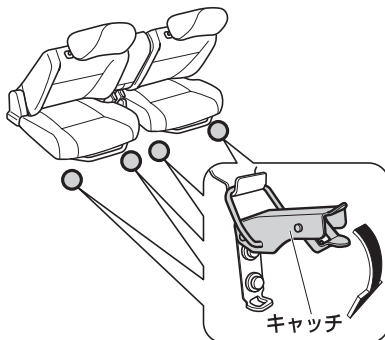
▼操作方法

1. フロントシートを車両前側に起こします。

⚠注意

- 助手席側を先に起こしてください。運転席側を先に起こすと、アームレストに当たって、同時に助手席側も動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

2. シート前部のキャッチをロックします。

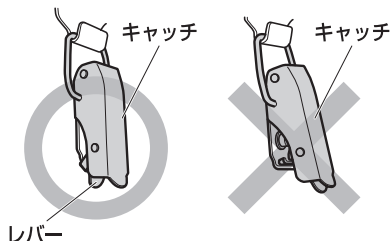




車を運転する前に 車体各部の開閉

アドバイス

- キャッチをロックするときは、レバーが押し込まれ、確実にロックしたことを確認してください。



3. 背当てを引き起こします。
4. スライド レバーを操作し、シート位置を調整します。

フューエル リッド

▼ 操作を行う前に

⚠ 警告

- 燃料は引火しやすいため、下記のことを守らないと火災につながり、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあります。危険です。
- エンジンは必ず止めてください。
- 車のドア、窓は閉めてください。
- タバコを吸うなど、火気を近づけないでください。
- フューエル キャップを開ける前に、必ず車体または給油機などの金属部分に触れて、身体の静電気除去を行ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花が引火するなどして、やけどのおそれがあります。
- フューエル キャップを開けるなどの給油操作は、必ず静電気除去を行った方お一人で行ってください。
- 給油中に再び車内のシートに触れたり、座ったり、また人や物に触れると再帯電する場合があります。このようなときは再び給油機などの金属部分に触れて静電気除去を行ってください。
- フューエル キャップを開ける際は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。気温が高いときなどは燃料タンク内の圧力が高くなり、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。



⚠警告

- フューエル キャップを少しゆるめた時に「シュー」という音がする場合は、それ以上開けずに、その音が止まるのを確認してからゆっくりと開けてください。
- 給油中に燃料がこぼれた場合はただちに給油を止め、こぼれた燃料を布きれなどでふき取ってください。
- こぼれた燃料が車の塗装面に付着した場合は水洗いをおすすめします。付着したままで放置すると、塗装面が劣化するおそれがあります。
- 給油口にほかの人を近付けないでください。
- 給油するときは、給油口にノズルを確実に挿入してください。また、オートストップ作動後の継ぎ足し給油は行わないでください。給油口から燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油機によっては、早期にオートストップが作動して正常に給油できない場合があります。ガソリンスタンドの係員を呼んで指示に従ってください。
- 給油終了後、フューエル キャップを閉める場合「カチッ」という音が一度するまで右に回し、確実に閉まっていることを確認してください。
- スバル指定フューエル キャップ以外は使用しないでください。燃料漏れなどを起こすおそれがあり危険です。
- その他ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。
- 燃料には、人体に有害な発ガン性物質を含んでいる物もありますので、燃料の気化ガスを吸わないようにご注意ください。

⚠注意

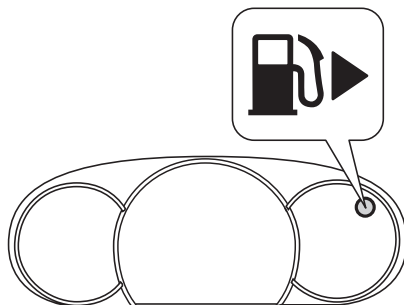
- 指定燃料は無鉛レギュラー ガソリンです。
- 給油時に、指定されている燃料であることを確認してください。
- 指定以外の燃料（粗悪なガソリン、アルコール系燃料、軽油、灯油など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングや出力の低下などが発生する場合があります。また、そのまま利用していると、エンジンや燃料系部品を損傷するおそれがあります。

フューエル リッドの位置

車体右側前部にあります。

📖アドバイス

- メーター内にフューエル リッドの車両取り付け方向を示しています。



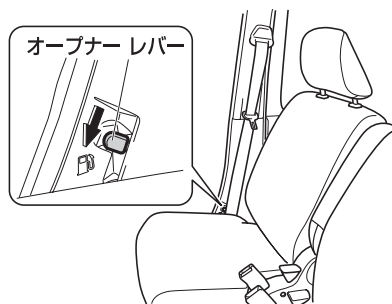


車を運転する前に 車体各部の開閉

フューエル リッドの開閉

▼開けるとき

運転席右下にあるフューエル リッド オープナー レバーを矢印の方向に動かします。



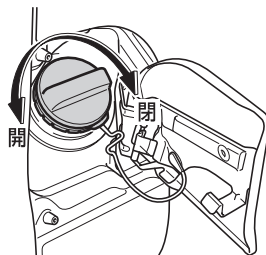
▼閉めるとき

リッドを押して閉めます。

フューエル キャップの開閉

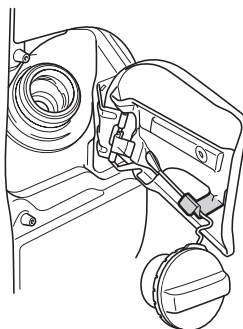
▼開けるとき

左に回して外します。



▼給油するとき

外したフューエル キャップをフューエル リッドの裏側にかけておくことができます。



▼閉めるとき

「カチッ」という音が一度するまで、右に回して閉めます。



パワー ウインドウ

スイッチ操作により運転席、助手席、後席のウインドウの開閉ができます。

▼操作を行う前に

⚠警告

- パワー ウインドウは大変強い力で開閉しますので、開閉するときは、ほかの人の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないよう注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにパワー ウインドウの操作をさせないでください。開閉するとき、手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ロック スイッチを“OFF”にしてください。

👉 アドバイス

- 運転席スイッチとほかのスイッチを同時に逆方向へ動かさないでください。故障の原因となるおそれがあります。
- ウインドウを完全に開閉した状態でスイッチを押し続けると故障の原因となりますので、操作完了後はすぐに手を離してください。
- パワー ウインドウの開閉はなるべくエンジン回転中に行ってください。エンジン停止時に行うと、バッテリーあがりの原因になります。
- ガラスが凍りついて固着したような状態でウインドウ スイッチの“開”または“閉”を連続操作しないでください。故障の原因となります。
- エンジン スイッチを“ON”の位置にすると、運転席のウインドウ スイッチのマークが点灯します。
- スライド ドアが開いている状態では、スライド ドアのウインドウ ガラスを開閉することはできません。（パワー スライド ドア（左側）を除く）

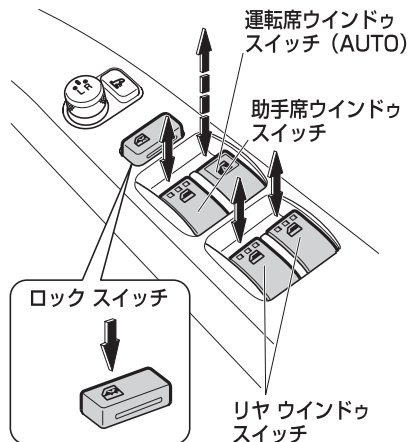




車を運転する前に 車体各部の開閉

運転席ドア側スイッチ

エンジン スイッチが“ON”の位置のとき、使用できます。



○運転席 ウィンドウ スイッチ (AUTO)

▼操作方法

スイッチを軽く押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、軽く引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。

手を離すと、その位置で止まります。

「カチッ」と音がするまで押し下げる、または引き上げるとウィンドウ ガラスは自動的に全開、全閉します。途中で止めるときは、軽く逆方向にスイッチを操作します。

○助手席 ウィンドウ スイッチ

▼操作方法

スイッチを押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。

手を離すと、その位置で止まります。

○リヤ ウィンドウ スイッチ

▼操作方法

スイッチを押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。

手を離すと、その位置で止まります。

○ロック スイッチ

▼操作方法

スイッチを押すと“OFF”になり、運転席ウィンドウ ガラス以外は開閉できなくなります。

もう一度押すと解除されます。



助手席ドア側スイッチ

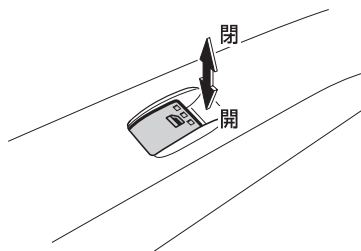
エンジン スイッチが“ON”の位置のとき、使用できます。

▼操作方法

スイッチを押し下げている間ウィンドウガラスは開き、引き上げている間ウィンドウガラスは閉まります。

手を離すと、その位置で止まります。

○助手席



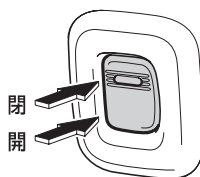
スライド ドア側スイッチ

エンジン スイッチが“ON”の位置のとき、使用できます。

▼操作方法

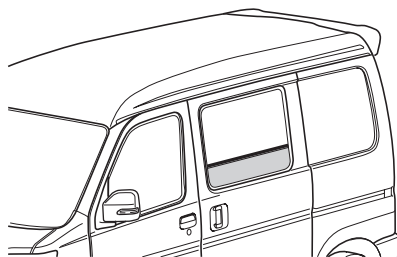
スイッチの上側を押している間ウィンドウガラスは閉まり、スイッチの下側を押している間ウィンドウガラスは開きます。

手を離すとその位置で止まります。



👉 アドバイス

- スライド ドアのウィンドウ ガラスは全開になりません。





車を運転する前に 車体各部の開閉

ウィンドウ反転機構（運転席）

運転席ウィンドウ ガラスを閉めるときに、窓枠とウィンドウ ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、ウィンドウ ガラスの上昇を停止し、自動的にウィンドウ ガラスが下降します。

アドバイス

- ウィンドウ反転機構は下記のときに作動します。
- 運転席ウィンドウ ガラスの開閉をスイッチにより自動（AUTO）で閉めているとき。
- 特に小さな物を挟み込んだとき、ウィンドウ反転機構が作動しないことがあります。
- 環境や走行条件により、異物を挟み込んだときと同じ衝撃がウィンドウ ガラスに加わると、ウィンドウ反転機構が作動することがあります。

初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断られたときは、パワー ウィンドウの初期設定をしてください。

パワー ウィンドウの初期設定がされていないと、下記の機能は作動しません。

- 運転席ウィンドウ ガラスの自動開閉
- ウィンドウ反転機構（運転席）

▼ 操作手順

1. エンジン スイッチを“ON”の位置にします。
2. 運転席ウィンドウ スイッチを引き上げ続け、ウィンドウ ガラスを全閉します。
3. 全閉後そのままの状態ですら約2秒間スイッチを引き上げ続けます。



車体各部の調整

ルーム ミラー

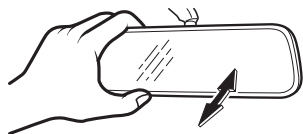
▼ 操作を行う前に

△注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。

▼ 調整のしかた

手でルーム ミラーの角度を調整します。



電動格納式ドア ミラー

ミラーの格納、角度調整をスイッチまたはノブの操作で行うことができます。エンジン スイッチが“ACC”または“ON”の位置のときに使用できます。

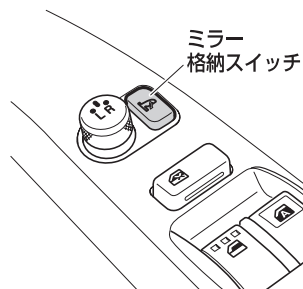
▼ 操作を行う前に

△注意

- ミラーの操作を行う際は、ドアとミラーの間に手を挟まないように注意してください。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。

▼ 格納のしかた

ミラー格納スイッチを押すと、ミラーを格納することができます。もう一度押すと元に戻ります。走行するときは、必ず元に戻してください。



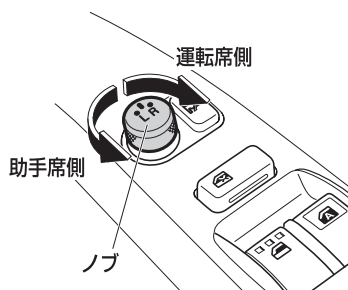
ミラー
格納スイッチ



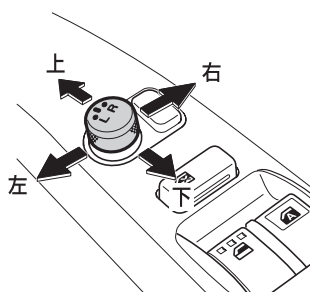
車を運転する前に 車体各部の調整

▼調整のしかた

1. ノブを調整する側にまわします。



2. ノブを動かして、ミラーの角度を調整します。



⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。

📌アドバイス

- 調整するとき以外は、調整ノブを中立（中央）の位置に合わせておいてください。
- 調整ノブを中立（中央）の位置にすると操作することができません。

MEMO

Dotted lines for writing.

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.